

# Straight away

## IFRS bulletin from PwC

28 November 2012

### IASBがIFRS第9号「金融商品」の限定的修正を提案

#### 背景

国際会計基準審議会 (IASB) は、国際財務報告基準 (IFRS) 第9号 (2010年) 「金融商品」に対する限定的な修正を提案する公開草案を公表しました。この公開草案は、以下の3つの特定の領域に対処するためのものです。

- 当初のIFRS第9号の公表後に生じた、償却原価の使用に関する実務上の適用問題
- 保険プロジェクトとの相互の影響
- IFRS第9号と米国財務会計基準 (FASB) の分類および測定に関する提案との相違点の縮小 (現在、負債性金融商品については概ね等しくなっている)

#### 主要な修正

##### 償却原価の事業モデルの明確化

IFRS第9号では、事業モデルの目的が契約上のキャッシュ・フローを回収するために金融資産を保有することである場合、当該金融資産は、償却原価測定に適切となります。この事業モデルの目的は当公開草案 (ED) の中でも変更されていませんが、IASBは、資産が償却原価測定に適切となるための事業活動の種類ならびに売却の頻度、数量および性質に関して、追加的な適用ガイダンスを提供することにより、「回収のための保有」という主な目的を明確にしています。たとえば、当EDは、信用の質の悪化による売却は、キャッシュ・フローの「回収のための保有」目的と相反しないことを明確にしています。さらに、企業が、「ストレス局面 (銀行預金の取り付けなど)」にある状況下でしか売却しない資産のポートフォリオを有して

おり、その「ストレス局面」が「稀にしか発生しない」と予想される場合も、償却原価の事業モデルと整合することになります。

##### 適格な負債性金融商品に関する「その他の包括利益を通じて公正価値で測定する (FVOCI) カテゴリー」の導入

当EDでは、適格な負債性金融商品に関するFVOCI (fair value through other comprehensive income) 測定カテゴリーが提案されています。負債性金融商品は、「元本および利息の支払のみ (solely payments of principal and interest <SPPI>)」テストの要件を満たし、かつ、契約上のキャッシュ・フローの回収および売却の双方を目的とする事業モデルの中で保有されている場合にのみ、FVOCIで測定されることとなります。FVOCIで測定される負債性金融商品の減損および利息収益の認識は、償却原価で測定される金融資産と同様となります。さらに、OCIに認識された公正価値による累積利得または累積損失は、これらの金融資産の認識が中止された際にOCIから純損益にリサイクルされます。

保険契約の裏付け資産として保有する負債性金融商品がこのカテゴリーに入ることが予想されており、したがって、こうした負債性金融商品の測定方法は、IASBの保険契約プロジェクトで議論されている提案に基づく保険負債の測定方法と一致することになります。



## 分類変更および公正価値オプションの適用範囲をFVOCIに拡大

現行のIFRS第9号の分類変更および公正価値オプションと整合するように、これらの分類変更および公正価値オプションの規定は、新しいFVOCIカテゴリーの金融商品にも同様に適用されます。そのため、企業が事業モデルを変更する場合、カテゴリー間の移動をどのように会計処理するかについてのガイダンスが提供されています。さらに、公正価値オプション指定については、その指定が会計上のミスマッチを除去または大幅に低減する場合、指定がなければ償却原価またはFVOCIに分類される負債性金融商品に適用することが許容されます。

## 「修正された」契約上のキャッシュ・フローの特性テスト

現在のIFRS第9号では、金融資産の契約条件により、元本および元本残高に対する利息の支払のみのキャッシュ・フローが特定の日に生じる場合、当該金融資産は（それが保有される事業モデル次第で）償却原価測定に適切となり得ます。このような状況において、利息は元本残高に関連した貨幣の時間価値と信用リスクの対価となります。

負債性金融商品の契約条件が、貨幣の時間価値および信用に関連しているものの、「完全ではない」（当EDの文言を使用すれば「経済的関係が修正されている」）場合があります。たとえば、金利改定の頻度（たとえば、1カ月ごと）が金利の期間（たとえば、3カ月物LIBOR）と一致しない、または利息にレバレッジがかかっている場合などです。当EDは、金融資産のキャッシュ・フローがSPPIの概念と引き続き整合しているかどうかを評価する際に、企業に「経済的関係の修正」の影響を考慮することを求める新しい要求事項を提案しています。

当EDは、SPPIの観点からは引き続き許容可能な、「完全な」金融商品とのある程度の差異が存在するという概念を取り入れています。この許容可能性を評価

するため、当EDは、企業が評価対象の金融商品と「完全な」（当EDでは「ベンチマーク」）商品とを比較することを提案しています。ベンチマーク商品のキャッシュ・フローと評価対象の金融商品のキャッシュ・フローの差異が重要ではないといえない場合、この金融商品は契約上のキャッシュ・フローがSPPIとみなされないため、FVPLで測定されなければなりません。

## 経過措置

IASBは、当EDにおいて、経過措置に関する以下の2つの主要な提案を行っています。

- (1) IFRS第9号全体を早期適用する必要なしに、発行者の自己の信用リスクの変動に起因する公正価値の利得または損失の表示に関する要求事項についてのみ早期適用することを企業に認める。
- (2) IFRS第9号が最終化（すなわち、全フェーズが完了）したならば、IFRS第9号の最終版の公表から6カ月後にIFRS第9号の従前のバージョンは廃止され、したがって、企業はIFRS第9号を段階的に適用することはできなくなる。

## 影響を受ける企業は？

ほとんどの企業が金融商品を保有しているため、IFRS第9号の規定はそれらの企業に適用されることとなりますが、当EDにおける限定的修正は、主に金融サービス部門の企業に影響を及ぼすこととなります。

## 次のステップは？

コメント募集の期限は2013年3月28日です。企業は、金融商品の分類および測定の再審議ならびに最終基準化においてIASBが貴社の見解を考慮できるよう、公開草案における提案にコメントを提出することを検討すべきでしょう。また、FASBも、2013年第1四半期に分類および測定モデルに関する公開草案を公表する予定です。

This publication has been prepared for general guidance on matters of interest only, and does not constitute professional advice. It does not take into account any objectives, financial situation or needs of any recipient; any recipient should not act upon the information contained in this publication without obtaining independent professional advice. No representation or warranty (express or implied) is given as to the accuracy or completeness of the information contained in this publication, and, to the extent permitted by law, PricewaterhouseCoopers LLP, its members, employees and agents do not accept or assume any liability, responsibility or duty of care for any consequences of you or anyone else acting, or refraining to act, in reliance on the information contained in this publication or for any decision based on it.

© 2012 PwC. All rights reserved.

PwC refers to the PwC Network and/or one or more of its member firms, each of which is a separate legal entity. Please see [www.pwc.com/structure](http://www.pwc.com/structure) for further details. This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.